



日光市観光協会

日光市観光協会 マーケティングレポート

2026日光市 訪日外国人観光客分析 3月

2026年5月作成

1

SUMMARY | 3月

入込数

40,506人
前年比 95.9%

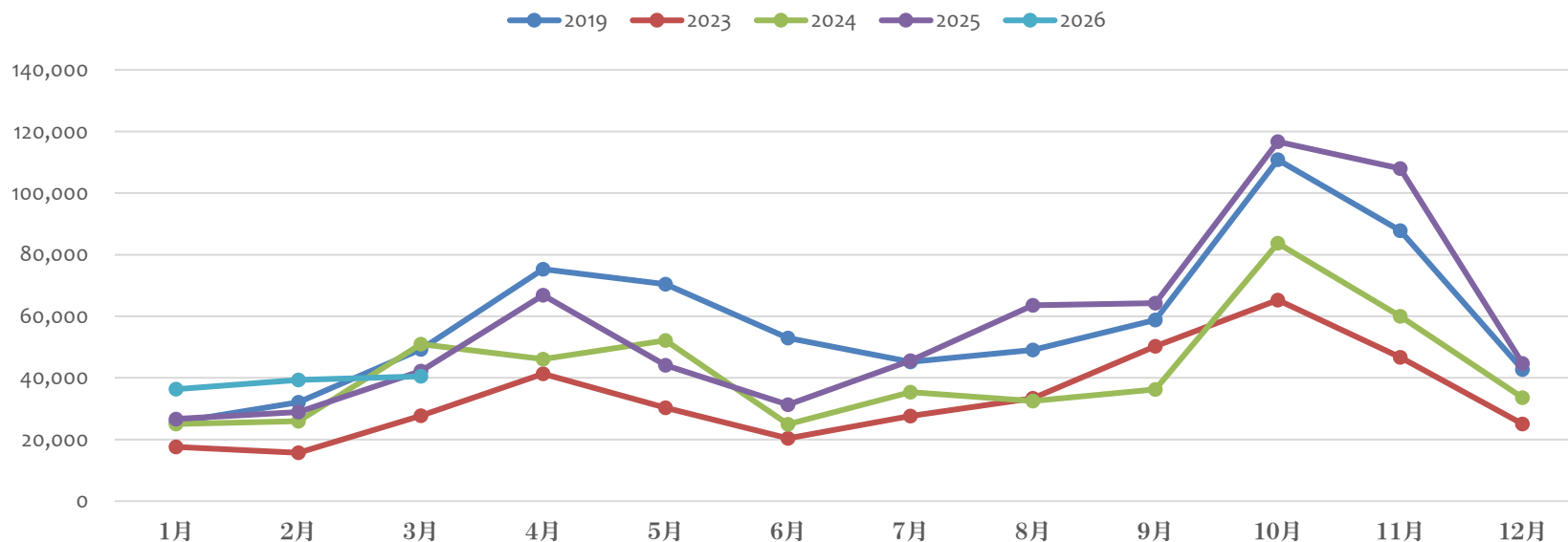
日帰り客

25,576人
前年比 107.0%

宿泊客

14,930人
前年比 81.7%

訪日光外客数月別推移（2019、2023～2026年）



2 月間推移

前年同月比較詳細

カテゴリー	2026年3月	2025年3月	前年比 (%)
入込数 (全体)	40,506人	42,226人	95.9%
日帰り客数	25,576人	23,898人	107.0%
宿泊客数	14,930人	18,328人	81.5%
全国訪日外客数	3,618,900人	3,497,600人	103.5%

2026年3月の日本全国の訪日外客数は3,618,900人(前年同月比103.5%)に達し、3月として過去最高を記録。桜シーズンと欧米のイースター休暇(春休み)が重なったことが要因と考える。

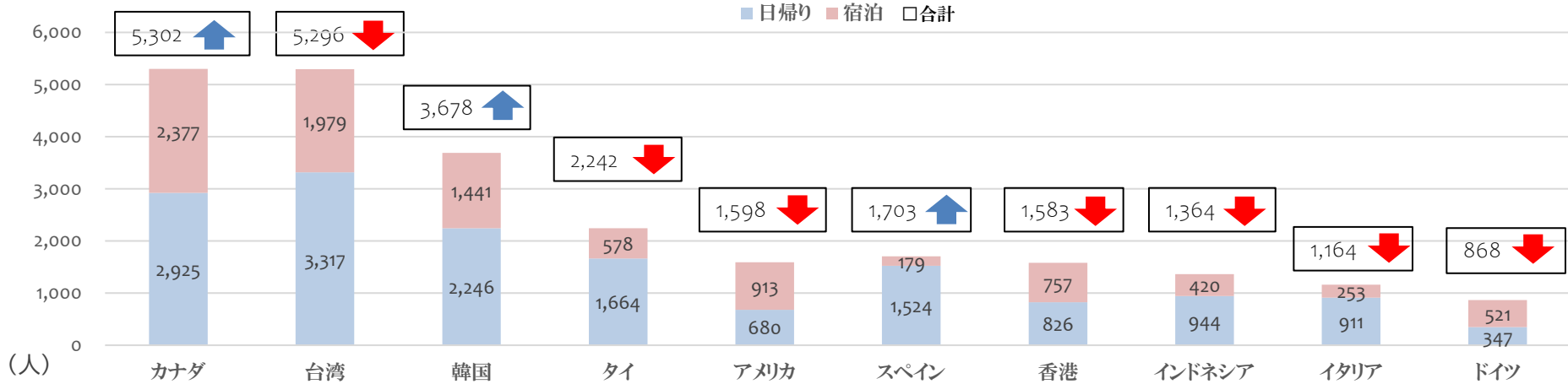
一方、日光市の入込数は40,506人(前年比95.9%)と、全国的な追い風の恩恵を十分に受けられず、わずかに前年を下回った。

日帰り客数は25,576人(前年比107.0%)と堅調に推移。東京からのアクセスの良さが奏功している。宿泊客数は14,930人(前年比81.5%)と約19%の大幅な減少を記録。この宿泊客の減少が全体の入込数を押し下げる最大の要因となっており、「日帰り観光化」の進行への対策が急務である。

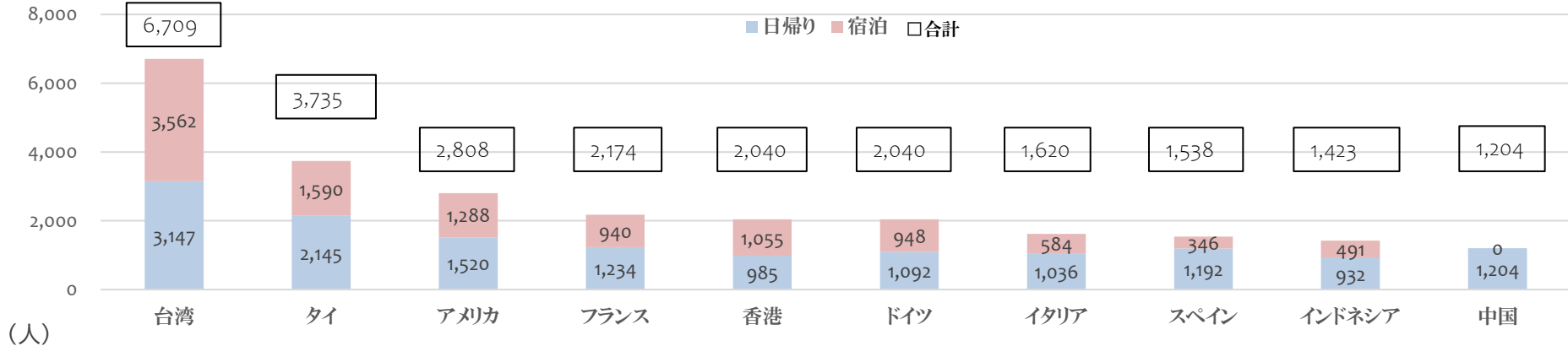
3 国籍別動向

(1) 全体

2026年3月



2025年3月



(2) 国籍別 日帰り・宿泊数

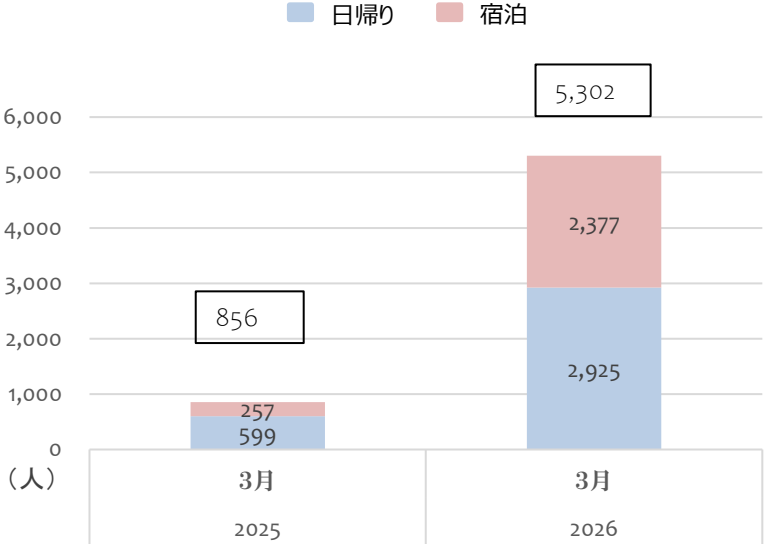
1位 カナダ



5,302人
前年比 619%

全国動向 (JNTO)
79,900人
前年比 117.4%

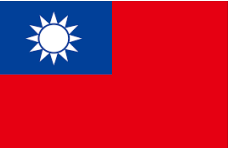
全国シェア 6.6%



カナダ市場の急伸

3月下旬のスクールホリデー（イースター休暇）の需要を完璧に捉えたか。欧米圏の中でも特に日光市への注目度が高まっており、スノーレジャーや体験型コンテンツが有力な目的地として認知されはじめたか。

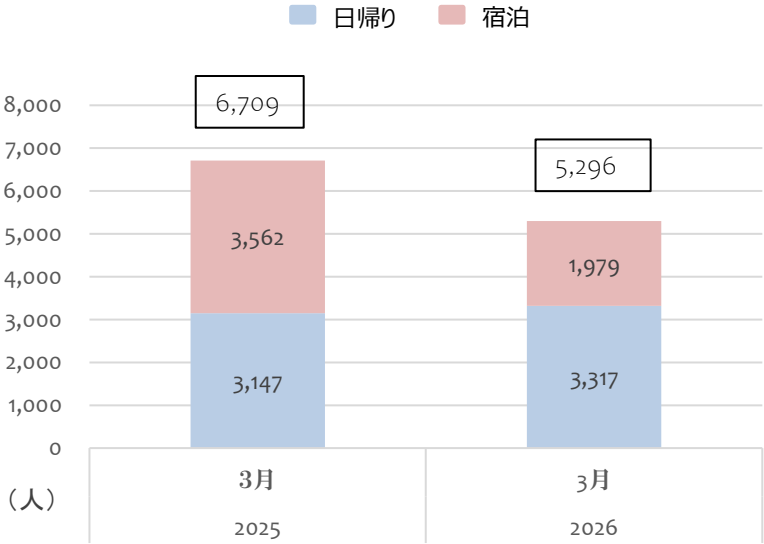
2位 台湾



5,296人
前年比 78.9%

全国動向 (JNTO)
653,300人
前年比 124.9%

全国シェア 0.8%



市場との乖離

台湾市場全体は「台中～熊本間の新規就航」や「台北桃園～青森間の増便」など、地方空港への直行便拡充により過去最高を記録。しかし日光市においては21.1%の減少となった。台湾のリピーター層が「新路線の開拓地域」へ分散し、地域間競争にシェアを奪われたか。

(2) 国籍別 日帰り・宿泊数

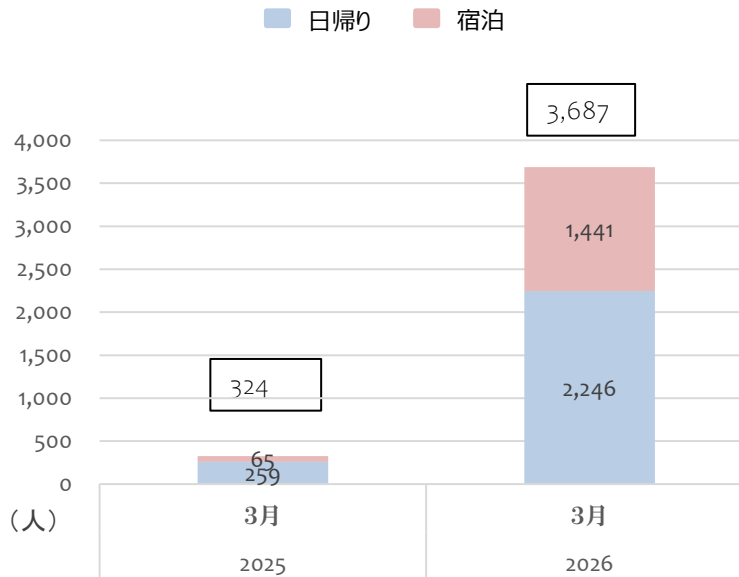
3位 韓国



3,687人
前年比 1138.0%

全国動向 (JNTO)
795,600人
前年比 115.0%

全国シェア 0.5%



開拓の余地が大きい巨大市場

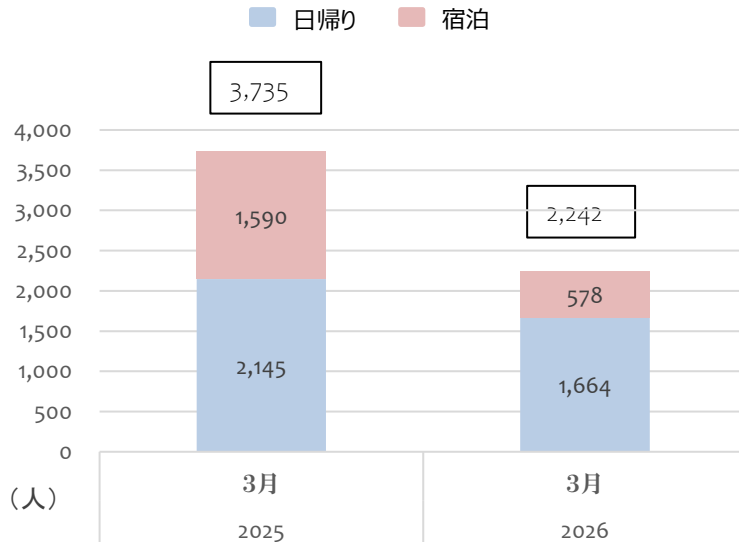
日光市入込数は前年比で爆発的な伸びを見せるが、訪日客全体入込数では約80万人であるのに対し、日光市のシェアはわずか0.5%に留まっている。リピーター層の地方分散が始まっており、日光市の自然や文化体験を訴求することで、シェア拡大を狙える「開拓市場」になるか。

4位 タイ

2,242人
前年比 60.0%

全国動向 (JNTO)
160,900人
前年比 108.6%

全国シェア 1.4%

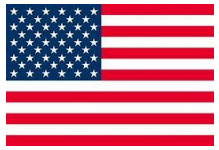


全国停滞中の中で日光市は好調

タイ市場全体は全国ベースで堅調に推移 (8.6%増) しているのに対し、日光市は40%減と失速し、明確な市場との乖離が見られた。2月までは入込数冬季誘客PRの効果が見られたが、3月のプロモーションの再構築が必要か。

(2) 国籍別 日帰り・宿泊数

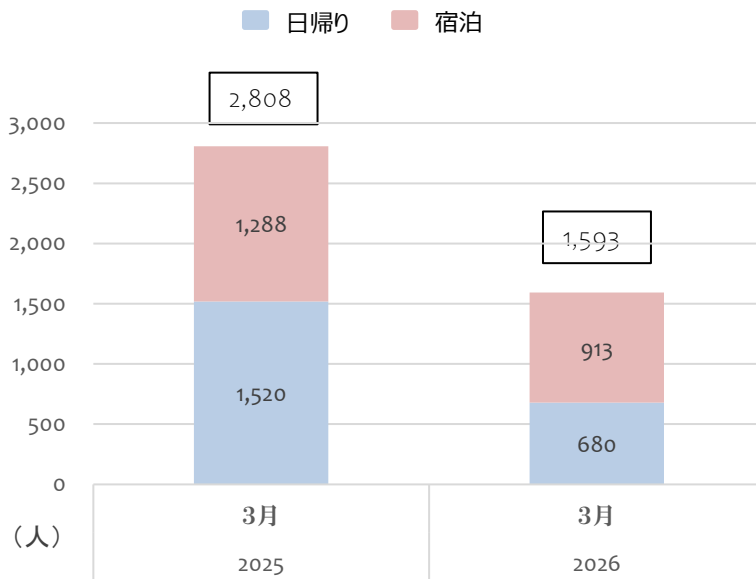
5位 アメリカ



1,593人
前年比 56.7%

全国動向 (JNTO)
375,900人
前年比 109.7%

全国シェア 0.4%



「量」から「超・高付加価値」へ

アメリカ市場全体が単月過去最高を更新する中、日光市は約43%減少。

一方で、宿泊比率は約50ポイントと大幅に向上。これは、航空便の地方分散等によりライトな日帰り客が他地域へ流出したが、高価格帯でも滞在価値を認める「高付加価値旅行者」の宿泊需要があることを示している。

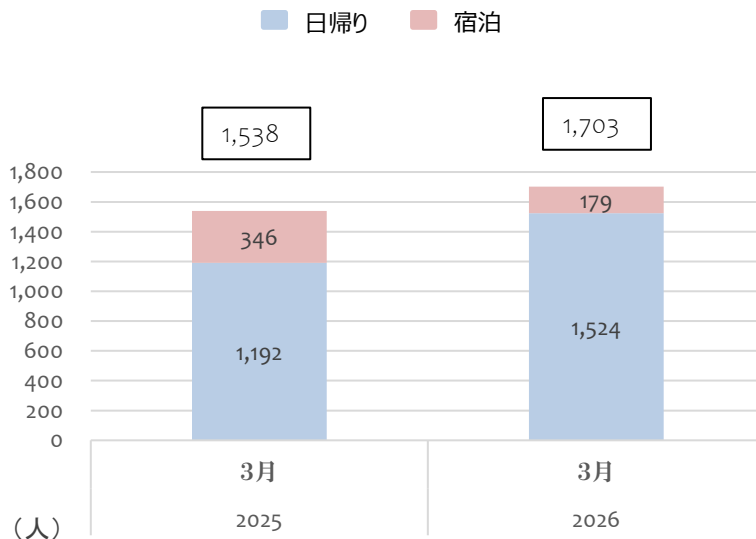
6位 スペイン



1,703人
前年比 110%

全国動向 (JNTO)
24,300人
前年比 136.3%

全国シェア 7.0%



高シェアの維持

スペイン訪日客の「約14人～15人に1人」が日光を選ぶという、突出した親和性の高さを見せている。歴史文化遺産に対する感度が非常に高く、安定した流入源となっているが「日帰り」の比率が高く、宿泊数を伸ばすための滞在時間の延長を促す情報発信が課題である。



【ご注意：本資料の転載・複製での利用について】

- 本資料は、一般社団法人日光市観光協会の著作物であり、著作権法に基づき保護されています。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。事前に当協会までご連絡ください。使用用途によって転載・複製をご遠慮いただく場合もございます、予めご了承ください。
- 本資料は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料を利用する場合にはお客さまの判断で利用してください。



日光市観光協会

一般社団法人日光市観光協会

(本部)

〒321-1261 栃木県日光市今市717-1
道の駅日光 日光街道二コニコ本陣 観光情報館
電話：0288-22-1525 (代表)